

公民科〔現代社会〕2単位シラバス	学年学科	2年 普通科
	教科担当	小嶺 栄作

### I 教科書

「現代社会」：東京書籍

### II 副教材・参考書

「現代社会 要点サブノート」：東京書籍

「最新図説 現社」：浜島書店

### III 学習の目標

- ①現代社会の基本的な問題として、地球環境問題、資源・エネルギー問題、科学技術の発達と生命、情報化の進展などを取り上げ、現代社会をとらえる枠組みとしての幸福、正義、公正の視点を理解する。
- ②現代社会の特質及びそこに生きる青年期の自己形成の課題について考えるとともに、よりよく生きることを追求した先哲の基本的な考え方について理解する。
- ③民主政治の基本的な考え方、日本国憲法の基本原理、日本の政治機構などについて理解し、現代の政治の諸課題について考察する。
- ④法の支配の意義を理解するとともに、現代社会における法の働きなどについて学び、裁判員制度に代表される国民の司法参加の意義について考察する。
- ⑤現代の経済の仕組みを市場や国民経済の観点から理解するとともに、日本の経済の動きを学び、政府による調整を必要とする消費者問題や雇用と労働、社会保障の現状と課題などについて考察する。
- ⑥国際社会の仕組みと動きを政治、経済の観点から理解するとともに、国際社会の諸課題について考察し、国際社会における日本の役割について考える。

### IV 評価の観点

評価の観点	内 容
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に追究しているか。</li> <li>・社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けているか。</li> <li>・平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付けているか。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄から課題を見だし、広い視野から多面的、多角的に考察しているか。</li> <li>・課題について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断しているか。</li> <li>・課題についての考察や判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。</li> </ul>
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。</li> <li>・得られた資料や情報を効果的に活用し、学び方を身に付けているか。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の政治、経済、社会、国際関係、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な課題や事柄について理解し、その知識を身に付けているか。また、学び方を身に付けているか。</li> </ul>

## V 授業計画

	単元名	学習項目	学習内容	学習活動
4月	第1部 わたしたちの 生きる 社会	テーマ1 地球環境 問題  テーマ2 資源・エ ネルギー問題  テーマ3 科学技術 の発達と生命  テーマ4 情報化の 進展と生活	○地球環境問題について多面的に理解し、持続可能な開発に向けた課題について考察します。 ○温暖化対策にかかわる国家間の利害の対立と調整を、幸福、正義、公正の観点から考察します。 ○資源・エネルギー問題について多面的に理解し、低炭素社会の実現のための課題について考察します。 ○持続可能なエネルギー利用の実現について、幸福、正義、公正の観点から考察します。 ○医療技術の発達が生命倫理の課題をもたらしていることを理解し、臓器移植や再生医療の進歩、バイオテクノロジーの進歩と生命操作などについて考察します。 ○クローン技術や遺伝子組み換え技術がもたらす課題を幸福、正義、公正の観点から考察します。 ○情報化の進展が生活や社会の変化に及ぼした影響を理解し、情報化社会の課題や未来について考察します。 ○情報の公開とプライバシーの関係について、幸福、正義、公正の観点から考察します。	○四つのテーマについては、身近な生活とも関連付けて考えます。 ○四つの「クローズアップ」の課題について、幸福、正義、公正の観点から考えます。 ○資源・エネルギー問題について現状と課題を具体的に考えます。  ○医療技術の進歩によってもたらされた倫理的な課題について具体的に考えます。  ○情報倫理について具体的な場面を想定して考えます。
5月	第2部 第1章 青年期 と自己 形成の 課題	1 現代社会と青年 の生き方 ①現代社会と青年  ②青年期の発達課題  ③自己形成と社会と のかかわり  ④進路と生きがいの 創造  2 よりよく生きる ことを求めて ①哲学と人間	○現代社会の特徴であるグローバル化の進展や少子高齢化と人口減少の進行について具体的に理解し、今後の社会における課題や、青年とのかかわりについて考察します。 ○青年期の心理的、社会的な特色を理解すると同時に、現代社会に特有の青年の在り方について考えます。また、アイデンティティ確立に向けた課題について考察します。 ○欲求と適応行動の関係について理解し、青年期におけるパーソナリティの形成やボランティアなどの社会との関わりの意義について考察します。 ○キャリアとキャリア開発の意義について理解し、進路の選択と学習や経験の役割や生きがいとの関係について考察します。  ○よく生きることを追求したソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想、心の持ち方やよりよい生き方を求めた孔子などの儒家、老子や荘子などの道家の思想を理解します。	○人口構成の変化について、身近な事例や統計資料等を用いて整理します。  ○青年期の特質と課題を自分自身の課題と付き合わせて考えます。  ○防衛機制の具体例をあげます。  ○キャリアの開発について、自分自身の問題として意識的に考えます。  ○それぞれの思想に共通している点と異なっている点について考えます。

単元名	学習項目	学習内容	学習活動
6月	②宗教と人間	○宗教の意味について知るとともに、三大世界宗教と呼ばれている仏教、キリスト教、イスラム教の人間観や教えについて理解します。	○三大世界宗教が人間をどのようにとらえ、救いはどのようにもたらされるととらえているかなどについて、比較しながら考えます。 ○人間の理性の働きを重視する近代のものの考え方について理解します。
	③近代科学の考え方	○ルネサンス以降の思想やベーコン、デカルトのものの考え方を学習することによって、近代の人間中心主義、合理的なものの考え方を理解します。	○自由や幸福という視点から、思想を比較して考えます。
	④人間の尊厳	○人間の尊厳を理性の働きによって説明したカントや理性の社会における具体化を主張したヘーゲル、幸福と正義の関わりを考えたアダム・スミス、ベンサム、J.S.ミルの思想について理解します。	○近代にける理性の信頼とその後の合理主義への反省の流れを整理します。
	⑤人間性の回復を求めて	○近代の合理主義を批判し、社会の仕組みの改革を主張したマルクスの社会主義、人間の主体性の回復を求めた実存主義、その他主な現代思想の特色について理解します。	○日常の言葉遣いに日本的なものの考え方が示されていないか考えます。
	⑥日本の伝統思想の考え方	○「おのずから」でとらえる日本人のものの考え方、八百万の神に示される神のとらえ方、清き明き心などの日本人の倫理観について理解します。また、日本の仏教の形成について学びます。	○外来思想の受容という点から儒教、国学、明治期の思想を整理します。
	⑦外来思想の受容と日本人の自覚	○江戸期における儒教や国学の考え方の特色を学ぶとともに、明治以降に西洋思想をどのように受容したのか、またその中から生まれた創造的な思想について理解します。	
	7月	第2章 日本国憲法と民主政治	1 民主政治とは
①民主政治の成立		○民主政治がヨーロッパで生まれた経緯や社会契約説、権力分立の思想、議会制民主主義の成立と仕組みについて理解します。	○民主政治の基本的な考え方を理解します。
②基本的人権の確立		○基本的人権や法の支配、立憲主義の意義、自由権から社会権へ向かう人権の歴史的展開について理解します。	○基本的人権保障の流れについておさえます。
③世界の政治体制		○議院内閣制と大統領制の特色を三権の関係などの視点から理解するとともに、社会主義国の政治体制について理解します。	○各国の政治体制について比較しながら整理します。
2 日本国憲法の基本原則			
①日本国憲法と三つの原理		○大日本帝国憲法の性格を学ぶとともに、日本国憲法が制定されるまでの経緯について学習し、日本国憲法の三大原則について理解します。	○大日本帝国憲法と日本国憲法とを比較しながら整理します。
②基本的人権の保障(1)	○日本国憲法における人権保障の基本的な考え方や法の下での平等の意義、自由権的基本権について理解します。	○「自由権」の「自由」の意味について考えます。	
③基本的人権の保障(2)	○社会権的基本権の意義、生存権、教育を受ける権利、勤労権などの内容について理解します。また、基本的人権	○自由権と比べた社会権の意義について考えます。	

単元名	学習項目	学習内容	学習活動
9月	④新しい人権と人権保障の広がり	を実現するための権利などについても学習します。 ○環境権，プライバシーの権利，知る権利，アクセス権，自己決定権などの新しい人権について性格を理解するとともに，人権保障の広がりについて考えます。	○新しい人権を環境問題や情報化の進展など，社会の変化との関連で考えます。
	⑤平和主義と安全保障(1)	○日本国憲法に定める平和主義の内容を確認し，日本の防衛と自衛隊のかかわり，安全保障に関する日本とアメリカの関係などについて考察します。	○日本国憲法と自衛隊にの関係について調べ，整理します。
	⑥平和主義と安全保障(2)	○安全保障に関する日本とアメリカの関係や，日本の安全保障法制について，冷戦終結後の動きを学習し，これからの安全保障政策について考えます。	○日本の安全保障にかかわる報道を調べて整理します。
	3 日本の政治機構		
	①国会と立法	○三権の相互関係について理解し，国会の役割と権限，二院制をとっている国会の構成と運営，現状と改革の動きについて学習します。	○ニュースなどの情報を用いて，国会や内閣の動きについて調べます。
	②内閣と行政	○議院内閣制の仕組み，内閣の権限と国の行政組織を理解するとともに，行政にかかわる課題について考察します。	○行政機構の仕組みと仕事について調べます。
	③裁判所と司法	○訴訟の種類，司法権の独立の意義と内容，日本の裁判制度，「憲法の番人」としての裁判所，裁判員制度などの司法制度改革について理解します。	○基本的人権の保障と司法の仕組みについて考えます。
	④地方自治	○民主政治における地方自治の意義を確認すると同時に，地方公共団体の組織と働きなどについて理解し，地方自治と国政との関係，住民の政治参加の意義などについて考察します。	○市町村や都道府県などで，どのような仕組みで政治が行われているか調べます。
	4 現代政治の特質と課題		
	①選挙のしくみと課題	○近代選挙の四原則，選挙制度の概要，日本の選挙制度の仕組みについて理解し，「一票の格差」など選挙制度をめぐる課題について考察します。	○最近行われた選挙に関する報道などを参考に調べます。
②政党と利益集団	○民主政治における政党や利益集団の意義と役割，現状と課題について考察します。	○政党の動きなどのニュースを調べます。	
③世論と政治参加	○世論の意義を理解し，世論とメディアとの関係，大衆化した社会における政治意識などについて考察します。	○世論とメディアの関係について考えます。	
10月	第3章 現代社会と法		
	1 現代社会と法		
	①法の働き	○法の特色，法の種類，法と道徳や正義との関係，法の支配の意味について理解します。	○どのような法律が定められているか六法全書などで調べます。
	②社会生活と法	○家族法の規定や私法における近代法の原則などを例に，社会生活における法の意義を理解します。また，経済生活や紛争の調整と解決に法がどのような役割を果たしているかについて考察	○身近な事柄にかかわる法について調べます。

単元名	学習項目	学習内容	学習活動
	③司法と人権	<p>します。</p> <p>○刑事司法の意味や原則，刑事裁判の制度，裁判員制度について理解し，日本の司法と人権の課題について考察します。</p>	<p>○刑事裁判における証拠や証言などの意味について考えます。</p>
11月	<p>第4章 現代の経済と国民福祉</p> <p>1 経済のしくみ</p> <p>①経済社会の変容</p> <p>②現代の企業</p> <p>③市場経済のしくみ</p> <p>④国民所得と経済成長</p> <p>⑤金融のしくみと働き</p> <p>⑥中央銀行の役割と金融の自由化</p> <p>⑦政府の役割と財政</p> <p>2 変化する日本経済</p> <p>①戦後復興と高度経済成長</p> <p>②産業構造の転換と国際経済環境の変化</p> <p>③バブル後の日本経済</p>	<p>○産業革命などを契機に資本主義経済が成立したこと，アダム・スミスの考え，資本主義経済の変容と社会主義やケインズの理論，資本主義の現在について理解します。</p> <p>○経済主体の一つである企業の役割，企業の活動，株式会社の特色，国際化に伴う変化，企業の社会的責任について理解します。</p> <p>○財やサービスを価格の動きを通じて配分していく市場の仕組み，寡占市場における価格の形成，独占禁止政策について理解します。また，価格機構が十分に働かない市場の失敗について考察します。</p> <p>○国の経済の指標である GDP や国富などについて理解し，経済成長の意味や景気の変動について学習します。</p> <p>○金融システムの仕組み，資金を融通する方法としての直接金融，間接金融，通貨制度，信用創造について理解します。</p> <p>○中央銀行の果たしている役割，金融政策の種類と働きについて理解し，金融の自由化，国際化の動きや背景について考察します。</p> <p>○市場経済の限界を補う意味を持つ政府の経済的な活動について理解すると同時に，財政制度，租税と公債，財政問題について考察します。</p> <p>○第二次世界大戦後の経済復興にかかわる諸改革や高度経済成長の経過や背景について理解します。</p> <p>○高度経済成長以降の石油危機や産業構造の変化，為替相場制度の変更，プラザ合意と円高不況，1980年代後半以降のバブル経済について理解します。</p> <p>○平成不況の状況，「失われた10年」といわれた時期の日本経済，構造改革の特徴とそれがもたらした様々な問題について理解します。また，日本経済の現状と課題について考察します。</p> <p>○中小企業の現状と経済や産業に占める役割，農業の現状と農業に関する諸政策について理解し，諸課題について考察します。</p>	<p>○資本主義経済の成立とその後の変容について理解します。</p> <p>○企業の規模や事業内容などについて，具体例をあげて調べます。</p> <p>○市場における買い手や売り手の立場に立って価格の役割を考えます。</p> <p>○経済の規模や動きをどのようにして計算するのかを理解します。</p> <p>○金利などを調べ，金融について関心を深めます。</p> <p>○金融に関する報道記事などを探して，整理します。</p> <p>○財政の仕組みや日本の財政問題について考えます。</p> <p>○高度経済成長の中で生活や社会がどのように変化したのか考えます。</p> <p>○国際経済環境と国内の経済の動きとの関連について整理します。</p> <p>○雇用や賃金格差などの課題や問題について，調べます。</p> <p>○中小企業と農業の課題を取り上げ考えることの意義について整理します。</p>
12月	④中小企業と農業		

単元名	学習項目	学習内容	学習活動
	<p>3 豊かな生活の実現</p> <p>①自立した消費者への道</p> <p>②労働者の権利</p> <p>③現代の雇用・労働問題</p> <p>④社会保障の役割</p> <p>⑤環境保全と循環型社会</p>	<p>○消費者主権の意味や消費者問題の背景，消費者運動，消費者行政と関連法制の概要を理解し，消費者の自立に向けた取り組みについて考察します。</p> <p>○労働契約の特性，労働組合，労働運動，労働者の権利の必要性，労働に関する法制を理解します。</p> <p>○バブル経済崩壊以降の労働や雇用環境の変化，労働や雇用にかかわる様々な課題について理解します。</p> <p>○社会保障の意義と制度の歴史，日本の社会保障制度の概略について理解し，少子高齢社会における社会保障制度の在り方について考察します。</p> <p>○高度経済成長とともに引き起こされた日本の公害問題とその後の政府の公害対策，新しい公害と環境保全について理解し，今後における持続可能な社会，循環型社会について考察します。</p>	<p>○消費者問題の事例を調べ，問題の発生の原因や背景について考えます。</p> <p>○労働者の権利がなぜ必要なのか考えます。</p> <p>○労働や雇用の在り方の変化について調べます。</p> <p>○日本の社会保障制度を健康保険制度など身近な事例から調べます。</p> <p>○都道府県や市が作成している環境基本計画について調べます。</p>
1月	<p>第5章 国際社会と人類の課題</p> <p>1 国際政治のしくみと動向</p> <p>①国際社会の特質</p> <p>②国際紛争を避けるしくみ</p> <p>③国際連合と安全保障</p> <p>④国際連合の役割と課題</p> <p>⑤冷戦とその後の世界</p> <p>⑥軍縮への取り組み</p> <p>2 国際経済のしくみと動向</p> <p>①貿易と国際分業</p>	<p>○国家の三要素，主権国家の成立，国家間の諸問題と外交，国際法の意義と国際法の種類などについて理解します。</p> <p>○国際紛争を避ける仕組みとしての勢力均衡，集団安全保障，国際連盟の特色，国際連合の設立と仕組みについて理解します。</p> <p>○国連の安全保障への取り組みの現状と課題，平和維持活動の役割，地域的な安全保障の取り組みについて理解します。</p> <p>○国連の経済的・社会的役割や，国連による人権の国際的保障の取り組みについて理解し，国際連合の課題について考察します。</p> <p>○第二次世界大戦後の東西の対立，1960年代の緊張緩和，多極化の動き，その後の冷戦の終結，冷戦終結後の紛争と対立などについて理解します。</p> <p>○米ソの軍備拡張競争と反核運動，国連の軍縮に向けた取り組みと成果について理解し，軍縮に伴う課題，信頼を育てることの重要性について考察します。</p> <p>○貿易の意義，自由貿易と保護貿易，リカードやリストの考え方，企業の展開と国際分業の実態について理解します。</p>	<p>○国際法の種類と具体的な内容について調べます。</p> <p>○国際連盟と国際連合を比較します。</p> <p>○国連や地域機構による平和維持の取り組みについて，具体的な事例を調べます。</p> <p>○WHO や UNESCO などの活動について調べます。</p> <p>○第二次世界大戦後の東西対立から冷戦終結までの流れを整理します。</p> <p>○軍拡競争に陥らないために信頼感を醸成することが重要であることについて考えます。</p> <p>○日本の輸出入の変化について調べます。</p>

単元名	学習項目	学習内容	学習活動
2 ・ 3 月	②外国為替のしくみと国際収支	○取り引きの決済方法としての外国為替の仕組み、為替レートの変動要因と影響、国際収支の仕組みについて理解します。	○毎日の為替レートの動きについて調べます。
	③戦後国際経済の枠組みとその変化	○IMF-GATT 体制成立の背景やその仕組み、貿易ルールにかかわる GATT の枠組み、IMF-GATT 体制の危機と崩壊について理解します。	○世界経済の動きと IMF-GATT 体制の変化について整理します。
	④対立と協調の時代	○1970 年代の国際経済の枠組み立て直し、ウルグアイ・ラウンドと WTO の成立、国や地域間の貿易や経済の連携や協定について理解します。	○ウルグアイ・ラウンドで合意された内容のうち、日本の米の輸入に関する合意について調べます。
	⑤グローバル化する経済	○グローバル化の時代の特色、金融の動きのグローバルな展開について理解し、世界経済の安定化に向けた課題について考察します。	○国境をこえた金融の動きについて報道を手がかりに調べます。
	3 国際社会の現状と課題		
	①地域統合の進展	○ヨーロッパにおける EC や EU の展開、アメリカやアジア太平洋地域における地域統合の動きについて理解し、地域統合の進展の理由などについて考察します。	○日本が関係する地域統合について調べます。
②変容する世界経済	○ソ連における社会主義経済の成立と展開、ペレストロイカ以降の民主化とロシアの動き、中国における市場経済化の動き、多様化する世界経済について理解します。	○ロシアや中国の経済の動きについて報道などを手がかりに調べます。	
③国際的な格差の是正	○南北問題の背景、1970 年代以降の南南問題などの動き、国連などの南北格差の是正を進める取り組みについて理解します。	○日本が行っている発展途上国への経済協力について調べます。	
④地域紛争と難民問題	○民族と国家の関係や、政治的・経済的対立が引き起こす地域紛争や、紛争などによって引き起こされる難民問題について考察します。	○地域紛争や難民問題について経緯や解決に向けた取り組みについて調べます。	
⑤国境をこえて広がる地球規模の課題	○人口の増加や人口構成の変化などの世界の人口問題、食料生産や食料不足にかかわる国際的な問題、感染症問題や医療資源の偏在などの問題について考察します。	○人口ピラミッドを手がかりに、将来の人口構成の変化について考えます。	
⑥日本の役割	○戦後の日本外交のあらまし、国際平和や経済、環境面で日本が果たす役割、国際貢献について考察します。	○日本がどのような国際貢献をしてきたのか、また、今後求められる国際貢献について考えます。	